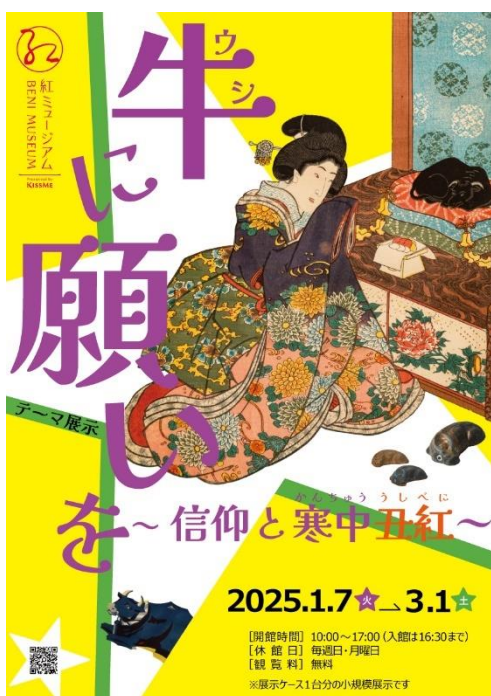


## 紅ミュージアム展示案内

### 「牛に願いを～信仰と寒中丑紅～」

2025年1月7日（火）～3月1日（土）

紅ミュージアムのテーマ展示「牛に願いを～信仰と寒中丑紅～」を、2025年1月7日（火）～3月1日（土）の期間で開催致します。



江戸時代に流行した信仰のひとつに「撫牛」があります。撫牛とは、臥した牛の像のことです。これを撫でると病が癒えたり、願いが叶ったり、さらに家業繁栄や財運向上など開運の利益があるされ、江戸時代中期以降にこの俗信は各地へと広がっていきます。撫牛には、寺社の境内に祀られた大型の石像もあれば、家内で祀るための小型の置物もあり、とくに後者は寺社での頒布や土産を目的に製作され、縁起物として普及しました。

こうした撫牛の流行を商戦活動に巧みに利用したと考えられる一例が、紅屋の「寒中丑紅」です。寒中丑紅とは、小寒から大寒の「寒中」に製造し、かつ暦上の「丑」の日に販売された紅の俗称です。江戸の紅屋では丑の日にちなみ、紅の購入を条件に臥牛をかたどった土人形を景物（おまけ）として進呈しました。開運の縁起物と親しまれていた撫牛に通ずるアイテムを配付するという紅屋の戦略は見事に当たります。また当時、牛をかた

どった人形は疱瘡除けの意味でも信心の対象であり、紅もまた、疱瘡や麻疹、口腔内の腫れ物などの薬として利用されていた実態がありました。

今展では信仰を背景とした「牛」と「紅」の結びつきに着目し、関連の資料をご紹介します。

[テーマ展示は、展示ケース1台分の小規模展示です]

#### テーマ展示

### 「牛に願いを～信仰と寒中丑紅～」

展示期間：2025年1月7日（火）～3月1日（土）

開館時間：10：00～17：00（最終入館は16:30まで）

休館日：日・月曜日、年末年始（12/27～1/6） / 観覧料：無料

<https://www.isehanhonten.co.jp/museum/>

この件に関するお問い合わせ先 株式会社伊勢半本店 PR担当 mail@isehan.co.jp

お客様お問い合わせ先 紅ミュージアム（火～土曜日 10:00～17:00）

〒107-0062 東京都港区南青山 6-6-20 K's 南青山ビル 1F TEL 03-5467-3735

株式会社 伊勢半本店